

泡瀬・美ら島便り



内閣府 沖縄総合事務局 / 那覇港湾・空港整備事務所 / 中城湾港出張所

平成21年12月18日 発刊

○本号は、平成21年度4月から10月現在までの経過報告です。

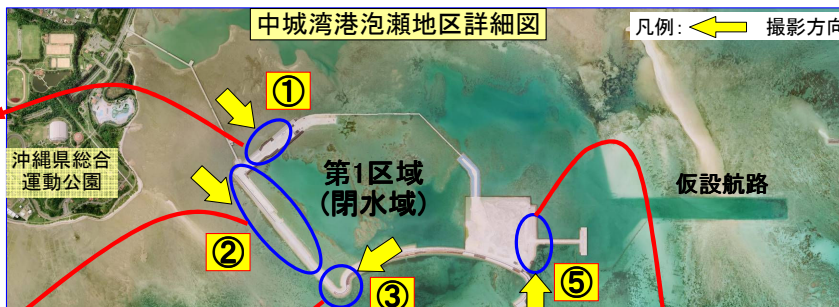
5月20日 【平成21年度 泡瀬第Ⅰ区域の護岸工事に着手】

平成20年度に砂などを利用して埋立地の外周が概成しました。

平成21年度は、第Ⅰ区域の外周を補強するための護岸工事に着手しました。



①イ中仕切護岸



②D護岸



③東突堤付近



④トチ護岸

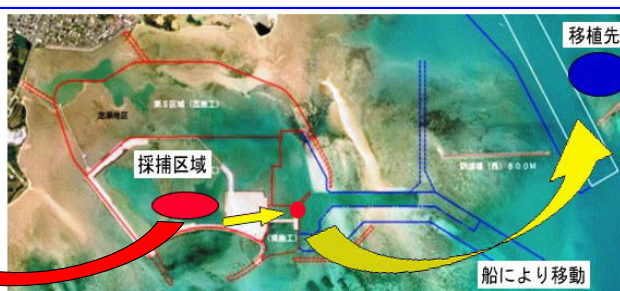
6月2日
～4日

【サンゴの移植】

埋立地第Ⅰ区域内にあるサンゴの第2回目の移植をNPO法人「コーラル沖縄」が主体となって実施しました。
第1回目の移植(沖縄市が主体で平成20年10月30日と11月5日実施)と併せて今後、移植後の生育状況を観察していきます。



採捕区域よりサンゴを採捕



移植計画位置図



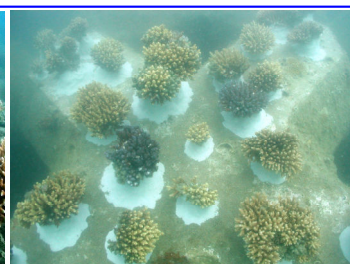
採捕したサンゴをダイバーに手渡し



ホソエダミドリイシ(コーラルマット法)



ホソエダミドリイシ(ネット法)



オヤユビミドリイシ(ボンド法)



オヤユビミドリイシ(ダイバーにより移植)

(裏面に続く)



7月19日 【海の日イベント】

沖縄市東部海浜リゾート推進協議会が主催する「親子釣り大会」が泡瀬地区内で開催され、大勢の親子連れが参加し賑わいました。
同時に中城湾港出張所では、埋立事業を紹介するパネル展示会を開催しました。

マリシティ泡瀬 海の日親子釣り大会



マリシティ泡瀬 海の日親子釣り大会開催位置図



人工ビーチ予定地にて釣り大会を開催



中城湾港泡瀬地区のパネル展示会開催

10月4日 【前原沖縄担当大臣 泡瀬埋立事業現場視察】

前原沖縄担当相は、泡瀬地区の埋立事業を視察された後、東門市長との会談で、「中断は中止ではない。10月15日の控訴審判決も踏まえ、市や県の意見を聞きながら判断したい」とし「本当に必要な事業なのか、市長には慎重に考えた上で判断していただきたい。」と述べられました。



沖縄県総合運動公園内 展望台より現地視察



泡瀬地区閉水域内の視察状況



前原沖縄相と東門市長との会談

10月15日 【公金支出差止控訴審判決】

判決内容：

「沖縄市が現在、新たな土地利用計画の見直しについて、計画が定まっていない現時点では、経済的合理性があるとは認められない」とし「経済的合理性が認められないにもかかわらず従前の計画に基づいて埋立工事を継続されているとすれば、工事に係る公金を支出するのは違法である。」として、沖縄県と沖縄市に判決が言い渡されました。

一方、沖縄市が今後の土地利用計画見直しに必要とする調査費や人件費については、違法ではないとして支出が認められたことにより、東門市長は第Ⅰ区域の土地利用計画を来年3月までに策定し、今後も事業を推進する考えを示しました。

10月26日 【今後の事業に対する大臣の発言】

前原沖縄担当相は、公金支出差止め訴訟の判決が確定した泡瀬地区埋立事業について、「当面、埋立事業に関わる工事を中断したい。今年度の浚渫工事に関しては現時点での入札を取りやめ、29日以降の埋立事業に関する工事を当面のあいだ中断する」と述べられました。

